

# 留 学 報 告 書

記入日:2018年9月10日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部／商学科／マーケティング専攻
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California, Berkeley
留学期間	2018年5月～2018年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	年 月 日
明治大学卒業予定年	2020年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月～12月 2学期:1月～5月 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約40000人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (\$ ドル)	円	備考
授業料		83万3030円	
宿舍費		61万8104円	
食費		2万円	宿泊費に含まれるため外食にかかった費用を記入
図書費		0円	
学用品費		2万円	教科書代
教養娯楽費		2500円	ノート、プリントコピー代
被服費		1万円	大学のパーカーなど
医療費		0円	
保険費		10万3300円	形態:プラン1(Berkeley 留学後に California State University, Long Beach に留学したため8か月のプランを組んでもらった)
渡航旅費		8万6120円	
雑費		5000円	現地での交通費
その他		3000円	お土産代
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>		<b>170万1054円</b>	(奨学金を考慮しない場合の合計金額)

## 渡航関連

渡航経路:羽田空港～ロサンゼルス国際空港～サンフランシスコ国際空港

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	86120 円
復路	0 円(往路のみの購入のため)
合計	86120 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Expedia

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

International house

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 )

3)住居を探した方法:

International house の HP から

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

I-house では現地生や留学生と知り合うことができる機会が多いと思います。寮が主催するツアーなどで有名な観光スポットに割安で行けたり、他にも様々なイベントが寮で行われます。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった  
利用した: Summer session の後に交換留学で行く大学の寮に入寮するために必要だったため。

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

International house の Office・Berkeley の友達に聞く。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

現地生に危険な場所、時間帯をまず聞き、ニュースなどもなるべく見るように心掛けた。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

スマホに関しては留学前に Softbank に乗り換えることで Sprint の通信を使えるようにした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

留学前に親に通帳を渡し、自分の口座への振り込みができるようにした。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本のお菓子(お世話になった人、または最初の掴みとして日本のお土産をあげると好印象)、米、味噌汁などのご飯物(I-house でも白米は出るがバサバサなので日本の米が好きな人は持っていくべき)

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

留学の前に親名義のカードで支払わせてもらった

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
大学の説明会
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
商社、メーカー、損害保険
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
自分の場合 Berkeley 留学後も交換留学で1月までアメリカで勉強することを選んだので、夏のインターンなどは参加できないが留学前・留学中と、できることは日本にいる学生と同じようにあるため特に不安は感じなかったし、逆に危機感を持って情報収集に取り組めた。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
3 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Leadership	リーダーシップ論
科目設置学部・研究科	Haas School of Business
履修期間	Session A
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Dun Mulhern
授業内容	ビジネスにおいてリーダーはどのようにあるべきか、またそのようなリーダーにはどのような資質が必要なのかということ組織の動きと企業内で働く人との関連性を踏まえて理解する授業。組織において共通のビジョンをどのように作っていくか、人の心を動かすようなマネジメントにはどのような要素が必要なのかなどリーダーシップについて細かいところまで学び、そのような理論を実際にどう活かすのかを知るため、実際にクラス内のディスカッションなどを通して模索し、それを改善していく。
試験・課題など	課題は週に一回、小グループで行われるディスカッションの中でリーダーシップという観点からどのような力が働いたのか、自分はどのようにリーダーシップを発揮しようとしたのかなどに関するエッセイを4、5枚程書き、他にもクラス内のペアで自分に足りない要素について2、3枚書くエッセイなどが定期的に出される。中間と期末は選択式で教科書を中心に書かれる。Final Paper については15枚以上でリーダーシップに関して自分が得たことをクラスにおける理論と具体的に結び付けて記述する。
感想を自由記入	リーダーシップを学ぶ上で自分にどのような強み、弱みがあるのか考える必要があったので、理論を学びながらそれを自分に還元することができるので面白かった。また、この授業はリーダーシップという観点からどのように人と関わるのかということが重視されていたので、クラス内でも活発に意見の交換があり、他の授業よりも生徒が積極的に仲間も非常に良かった。教授も生徒一人一人を見てくれる方だったので、課題やテストはハードでしたが、やりがいを感じながら授業に臨むことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
California	カリフォルニア
科目設置学部・研究科	Department of Geography
履修期間	Session A
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	John Elric
授業内容	カリフォルニアの地理、文化、歴史について包括的に学ぶ授業。カリフォルニアの地形などの地理的な特徴がどのような社会影響を及ぼしたのか、またビジネスにおいてどのような影響があったのかなどを具体的に学んでいった。スペインの統治による影響、アジア地域からの影響はどのようにもたらされたのかなど様々な視点からカリフォルニアについて捉え、現在のカリフォルニアが形成された過程を学ぶことができる。
試験・課題など	リーディングは毎日15ページ程あり、それに基づいて授業の後半にあるディスカッションが行われる。また、授業の内容を踏まえた問題がクラスの後半に五問程度出され、中間・期末の問題はこれらの問いを中心に問われる。プレゼンテーションも学期末にあり、カリフォルニアにおける課題について自分でトピックを選び、5分ほどでプレゼンを行う。
感想を自由記入	地理、文化、歴史、ビジネスなど様々な視点からカリフォルニアを捉えるのが興味深かった。計算などは全くなく、過去に起きた事例が現在のカリフォルニアにどのような影響を及ぼしたのか、「解釈」することが中心だった。独立すれば世界10位以内の経済力を持つといわれるカリフォルニアにはどのようなビジネス上の強み、または弱みがあるのかなど自分の専攻と関連付けて学ぶことができたので面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	Haas School of Business
履修期間	Session D
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	David Robinson
授業内容	現代インターナショナルビジネスにおいて主流になっているマーケティングの概念を学ぶ。授業の前半はレクチャー、後半はケーススタディーを行い、実際に企業が直面したビジネス上の課題について扱う。レクチャーで学んだ理論に基づいて、実際の企業のマーケティングの戦略についてどのような効果、パターンがあるのかなど、理論と実際の状況を照らし合わせながら具体的に学ぶ。
試験・課題など	毎回約20ページほどのケーススタディーについてのリーディングがあり、読むだけでなく授業前に意見を用意しないと発言ができないので、他の授業の課題との兼ね合いも含め大変だった。この毎日の課題に関して、授業を通してではなく自分でケースの課題を指摘し、ビジネスプランを考える課題が二回ある。また、これを5、6人のグループで考え、プレゼンをするプロジェクトがあり、厳しく評価されるので時間を掛けて準備する必要があった。中間・期末は選択式で授業の内容から出される。判断が難しい問題もあるため授業中にしっかり理解することが重要だった。
感想を自由記入	この授業では発言が非常に重視され、毎週発言回数がエクセル上で記録される。授業では水以外の飲み物の持ち込みが禁止だったり、ケーススタディーの時間のノートパソコンの使用を認めていないなどの細かい所までルールが決まっており、実際に先生についても厳しい印象を受けた。授業内容については、マーケティングに関して新たな視点から学びこともあり興味深かったが、他の授業と比べて特別面白いという実感はなかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business English	ビジネス英語
科目設置学部・研究科	Colledge Writing Program
履修期間	Session D
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 2 回
担当教授	Jennyfer Johnson
授業内容	ビジネスマナーを英語、特にスピーキングに重点を置いて学んでいく授業。具体的にはメールや電話、会議におけるプレゼンテーションのマナー、インターナショナルビジネスにおける文化間の違いとそのビジネス上の影響などについて学んだ。授業は指定の教科書に基づいて進み、課題であるリーディングの内容を踏まえて各自の意見を発表したり先生が理論について説明する。
試験・課題など	週に一回小テストがあり、教科書の内容から出される。どれも文法や会話表現が中心なので準備すれば問題はなかった。中間・期末はないが週に一回各自で行うフィールドワークがあり、どのようなマーケティング戦略が身近なビジネスで行われているのか自分の目で見えて考察する。分量は2、3枚程。また、個人で行うプレゼンが2回、グループで行うものが1回あるためフィールドワークの課題と両立させ、準備していく必要がある。
感想を自由記入	授業中の発言機会が多く、間違えてもトライする姿勢を評価する環境があったためスピーキングの面で他の授業よりも練習できた実感がある。また授業内容もビジネスマナーという実践的なものだったので非常にためになった。クラスの半分以上が中国からの生徒でアジアの視点からもビジネスを捉えられたので面白かった。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	漠然と留学したいと思い始める
2017年 1月～3月	学部間協定留学で韓国に一月留学。ここで交換留学に行くことを決める。
4月～7月	IELTS の勉強を初める、受験
8月～9月	カリフォルニア大学サマーセッションプログラムのことを初めて知る。 IELTS 受験
10月～12月	10月 TOEIC/IELTS 受験 11月 IELTS 受験/大学間協定留学(交換型)とサマーセッションのための留学計画書を提出 12月交換型の学内選考(二次選考で面接)/結果通知
2018年 1月～3月	履修登録や寮の申請を始める(両方の大学について)
4月～7月	5月 F1/J1 VISA 申請 Session A 5/21~6/28 (中間・期末試験あり)
8月～9月	Session D 7/3~8/9 (中間・期末あり) Berkeley は F1、次の留学先は J1、と VISA の種類が違うため(アメリカを一度出る必要がある) カナダで一週間過ごしながら準備を進める Fall semester 8/18~12/19(California State University, Long Beach)
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	明治大学に入学してから大学生活で何か胸を張ってやり遂げたとと言える努力をしたくてまず留学について調べ始めました。また、大学一年生の時に韓国に学部間留学をして留学でこんなにも物事に対する考え方が変わるのだと実感したことが大きな要因です。専攻に関わる部分では、自分はビジネスを勉強しているのでアメリカの大学の方がより深く、実践的な知識やスキルを得ることができると判断したので留学を決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学の権利を得るためにする英語の勉強では正直全く歯が立たないということをアメリカに来て痛感します。留学前に英語を勉強すればするほど留学そのものが充実してくると感じました。また、留学先の大学近辺にはどのようなスポットやイベントがあり、どのように交通機関を使うのか生活面のことも事前に調べ、具体的に決めておくことが限られた時間の中で留学を楽しむために必要なことだと思います。
この留学先を選んだ理由	自分はビジネスを明治大学にいたときよりもっと深く、実践的な知識やスキルを勉強したかったので、世界で一位の public business school を持つ Berkeley なら本物の授業が受けられると思いこの大学に決めました。また私の場合はこのサマーセッションの後にそのまま交換留学に行くことが決まっていたため日程的にも Berkeley に留学することが自分にとって一番の選択肢だと判断しこの大学に決めました。
大学・学生の雰囲気	Berkeley の生徒・教授は絶対に努力を認めてくれます。なので自分の行動次第でいくらでも状況を良い方向に変えていけると感じました。生徒はオン・オフの切り替えが驚くほどはっきりしていて、時間を掛ければ良いという考え方は一切ありません。常に具体的に、どのように物事を進めたらよいか、どのように時間を作るかということを考えていました。
寮の雰囲気	自分が選んだ I-house では Berkeley や San Francisco 周辺の有名スポットに割安で行けるツアーや毎週水曜に行われる、飲み物やお菓子を食べながら会話を楽しむ Cofee hour などのイベントが沢山あります。また Dining hall が開けているためご飯を食べるときに簡単に友達を作ることができます。寮にはプリンターや図書室などもあり、勉強に関する設備も整っています。
交友関係	最初は自分から話しかけるのに少し緊張していましたが、そのような緊張も生活していくうちに必要ないと感じ、積極的に友達を作りました。クラスのみならず教授も含めて一緒にハイキングをしたり、試験後にはみんなで集まってご飯を食べに行ったりしました。また I-house で意気投合した友達と課題が終われば San Francisco に出かけたり、車に乗せてもらい有名な観光スポットに連れて行ってもらったりしました。
困ったこと、大変だったこと	やはり Berkeley の課題の量と難しさは今まで体験したことのないレベルだったので、自分の生活リズムを崩さないまま、計画的に取り組んでいくのが最初は大変でした。また周りの明治からの留学生が遊んでいる中、自分は勉強しなければいけなかったり、ちょっとしたストレスを感じることは多かったですが、周りに感わされずに自分のやるべきことに集中する力をこの留学で伸ばせたと思います。
学習内容・勉強について	私は Berkeley でもビジネスの授業を多くとりました。日本はビジネスの観点からも重要な位置を占めるので頻繁に意見を述べる機会がありました。また、すべての授業でディスカッションが重視され、いかにクラスの中で存在感を示せるかがアメリカの大学で良い成績を取るために必要なかわかりました。しかし最初からクラスの中で自分の意見をはっきり述べるのは難しいので事前の予習やクラスメイトに助けてもらいことで何とか乗り越えていけると感じます。
課題・試験について	私が取った授業についての課題は毎日、合計して少なくとも30ページの Reading がありました。それに加え提出すべき課題が一週間の内に3つほどあったので寝れない日も普通にありました。しかし、どんどん先読みしてやるべきことを確認しておけば、こなせない量ではないと思います。試験については選択式のものど記述式の両方が課せられ、選択式のテストにおいても判断が難しい問題が出されるのでしっかりと授業内容を理解することが必須でした。

大学外の活動について	I-house の裏にコートがあり、サッカー好きな生徒が集まっていたのでグループに入れてもらい気分転換にサッカーをよくしていました。毎日参加しなくてもよいので自分の好きな日に体を動かせたのが非常に良かったです。そこでできた友達とは今でも連絡を取り合ったりと大切な友達もできました。このように大学の授業外で積極的になることが留学をさらに楽しくすると感じました。
留学を志す人へ	私が留学を意識し始めたとき、明治大学の留学制度について詳しくは知らず、実際の Summer session と交換留学を組み合わせることはできると思っていませんでした。私の場合その時点では英語のスコアも足りず、本当に入学した時点でしっかり留学を意識している人だけが留学の切符を手にするのだと思っていました。しかし、自分次第でどうしても状況は変えられると自信を持って言えます。何度も事務室に話を聞き、情報を入手し、自分で英語力も伸ばすことで実際に自分の留学を実現させました。なので絶対に諦めないでください。また、このような留学のケースは明治で前例がないと思うので、僕が協力できることがあれば事務室から連絡ください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	予習	予習	予習	ランニング	課題	ランニング	ランニング
	Leadership	Leadership	Leadership	予習	課題	ジム	ジム
午後	復習	California	California	California	課題	課題	課題
	課題	復習	復習	復習	課題	課題	課題
夕刻	ジム	課題	課題	サッカー	ジム	サッカー	サッカー
夜	予習	予習	予習	課題	課題	課題	予習